

大槌町立大槌小学校

2014年 8月 5日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)
北林 雅洋(香川大学教育学部)

【文献】

- (1) Wikipedia大槌町立大槌小学校 (2014年6月4日閲覧)
- (2) 野竹 宏彰、他「東日本大震災の津波火災における避難拠点建物の延焼拡大要因の分析と防火対策に関する考察」 2014年(清水建設HP) http://www.shimz.co.jp/tw/sit/report/vol189/89_007.html
- (3) 朝日新聞 2013年4月1日

【場所】

大槌湾から約1km離れた位置にある。大槌湾に流れる二つの河川(大槌川・小槌川)に挟まれており、大槌川から約700m、小槌川から約450mの位置にある。

住所:岩手県上閉伊郡大槌町上町1-3

※現在は閉校し、被災した他の学校と合併して別の場所で新しく大槌小学校として再開した。

【東日本大震災による被害】

津波により校舎1階天井まで浸水した。また、校舎では火災も発生している。出火原因は津波によって流されてきた自動車のガンリンであると推定されている。現在校舎は改修され、町役場として再利用されている。(1)(2)

【震災当日の様子】

地震発生後、大津波警報が発令されたことを職員が確認し、すぐに児童は高台に避難した。この時15時を回っていた。また、一部の児童は親が迎えに来て学校を離れた。高台に避難した児童は全員無事だったが、親が迎えに来た児童の7名が亡くなった。(1)(3)

【調査して言えること】

学校の標高は約4.2mであった。学校から小槌川河口の水門は確認できるが、海や川の様子を見るのは難しいと思われる。校舎が4階建てなので、上階からは見ることができたかもしれない。

学校の向かいに高台があり、500mほど坂道を登れば城山公園の体育館の駐車場に出る。標高は36mほどで避難して待機しやすい場所である。また、この高台からは海を見ることができる。



赤い範囲:大槌町

緑の範囲:大槌小学校



現在は役場として利用されている校舎(2014/3/19撮影)



学校から見た海の方角
(2014/3/19撮影)



高台から見た海
(2014/3/19撮影)



学校の向かいの高台
(2014/3/19撮影)